

1. 入学者選抜^{*1}

阿部 直^{*2}

1. はじめに

大学医学部（医科大学）の入学者選抜は各大学のアドミッション・ポリシーに基づいて各大学の責任において実施されるべきであるが、一般的に学力試験に偏り、「良き医師」に対する適性が評価されていないことがかねてから指摘されている¹⁾。

2. 医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議の報告

2007年3月に発表された最終報告書では、入学者選抜方法の改善のために、入学時点での知的能力のみならず、次の3点の有無を重視するように求めている²⁾。すなわち、①医学を学び研究すること、および医師になることに対する明確な目的意識、②医師になるために必要な人間性や自ら学ぶ姿勢、③今後ますます高度化・複雑化する医学・医療を担うために必要な資質、の有無の重視である。そのために、面接、小論文、高等学校長からの調査書、適正検査の活用や、推薦入学の実施など、選抜方法の多様化、評価尺度の多元化を進める必要性を指摘している。さらに、アドミッション・オフィス入試の活用等により、時間をかけてきめ細かく判定する取り組みも求めている。

3. 全国医学部長病院長会議の調査結果

2005年と2009年の調査結果^{3, 4)}を比較すると、入学者選抜に面接、高校の推薦書、小論文などを採択している大学の数は国公立、私立を問わず、

全体的にわずかに減少していることがわかり、医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議の報告に沿った改革は進んでいないことがわかる(表1)。

1) 面接

受験生1名の面接にかかる時間は、学士編入学では20分以上かける大学が半数以上であるが、推薦入試では半数以上の大学が20分以下、一般入試にいたっては半数以上の大学が15分以下と非常に短い(表2)。それにもかかわらず、69大学が面接試験でその主たる目的を十分に達成あるいは概ね達成していると答えている(表3)。

2) 学士編入学制度

学士編入学制度を採用している大学数は、この4年間ほぼ同じ(表4)で、この制度により選抜している学生数は一校あたり若干名と答えた大学が6校、5人が20校、10人が4校、15人、20人、40人が各1校である。

3) 地域枠と研究医枠

2008年度以降の医学部入学定員の増加に伴い、地域の医師確保のための地域枠、研究医養成のための研究医枠も設けられた。2010年に新設された研究医枠は全国で最大10人⁵⁾と少ないが、地域枠は44大学で活用されている(表5)。選抜する人数は国立で一校あたり10人～20人が約半数を占め、公立では15人～30人、私立では10人～20人が最も多い。地域枠の選抜方法は多様で、推薦入試、推薦、面接、小論文、AO入試、学士編入学、出願書類の総合判定、さらにそれらの組み合わせなどにより選抜している。

*1 Medical School Admissions

*2 Tadashi ABE 東海大学医学部内科学系呼吸器内科学

表1 一般入学者選抜において採用している選抜方法（複数回答可）^{3, 4)}

2009年白書

	全体	国立	公立	私立
a. 大学入試センター試験と貴学が独自に出題する学力試験	62 (60)	42 (40)	8 (8)	12 (12)
b. 面接	58 (73)	36 (40)	7 (8)	15 (25)
c. 高校の推薦書	9 (13)	3 (7)	0 (1)	6 (5)
d. 小論文	46 (58)	18 (26)	5 (5)	23 (27)
e. その他	38 (36)	17 (18)	2 (3)	19 (15)

()内の数字は2005年の白書より引用

表2 受験生1名に対して面接にかかる時間（一般入試（前期試験または第I期））^{3, 4)}

2009年白書

	全体	国立	公立	私立
a. 5分以内	3 (2)	1 (0)	0 (0)	2 (2)
b. 5～10分	22 (17)	14 (7)	1 (4)	7 (6)
c. 10～15分	20 (25)	11 (15)	4 (2)	5 (8)
d. 15～20分	10 (7)	5 (4)	2 (0)	3 (3)
e. 20分以上	9 (10)	4 (6)	1 (0)	4 (4)

()内の数字は2005年の白書より引用

表3 貴学の面接試験では、その主たる目的を達成していますか⁴⁾

2009年白書

	全体	国立	公立	私立
a. 十分に達成	5	4	1	0
b. 概ね達成	64	34	5	25
c. どちらともいえない	8	3	2	3
d. やや不十分	2	1	0	1
e. 不十分	1	0	1	0

表4 学士編入学制度を採用していますか（もしくは採用予定はありますか）^{3, 4)}

2009年白書

	全体	国立	公立	私立
a. はい	36 (35)	29 (29)	1 (1)	6 (5)
b. 検討中	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)
c. いいえ	41 (43)	13 (14)	7 (6)	21 (23)

()内の数字は2005年の白書より引用

表5 地域枠を設けていますか⁴⁾

		2009年白書			
		全体	国立	公立	私立
a.	はい	44	28	7	9
b.	いいえ	34	14	0	20

■文 献

- 1) 日本医事新報. NO. 4427. pp.14-8, 2009.
- 2) 文部科学省. 医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議, 最終報告, 平成 19 年 3 月 28 日.
- 3) 全国医学部長病院長会議. わが国の大学医学部(医
科大学)白書 2005.
- 4) 全国医学部長病院長会議. わが国の大学医学部(医
科大学)白書 2009.
- 5) 文部科学省. 平成 22 年度医学部入学定員の増員計
画について. 平成 21 年 12 月 7 日.